

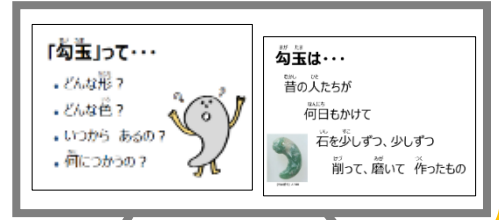
この新聞は主に小中学生の皆さんに向けて作成しました。現在、ワークショップを休止しているため、これまでの活動を紹介します。この新聞を見て興味があれば、再開時にぜひご参加ください。

## まずは、<sup>まがたま</sup>勾玉<sup>しょうかい</sup>つくりのワークショップを紹介！

### 1. 学ぶ

### <sup>まがたま</sup>勾玉<sup>まな</sup>について学びます！ ～本館B1みどりのライオン～

勾玉が作られ始めた縄文時代ってどんな暮らしをしていたの？  
材料は何？など、スライドを見ながらお話を聞きます。



### 2. 見る

### <sup>てんじしつ</sup>展示室<sup>まがたま</sup>に勾玉<sup>へいせいかんこうこてんじしつ</sup>を見に行きます！～平成館考古展示室へGO！～



考古展示室入口



初めは、動物の骨  
や歯や角を削って  
作っていました。



硬玉勾玉 古墳時代・4～5世紀

もう少し時代がたつと、もっと  
硬い石を削って作られるよう  
になりました。  
硬玉(ヒスイ)、水晶、瑪瑙、  
ガラス、滑石などです。



子持勾玉 古墳時代・5世紀

え～！これも勾玉？  
子持勾玉は勾玉の背などに  
背中合わせの子勾玉が1～  
4個ついたものです。

### 3. 作る

### <sup>まがたま</sup>勾玉<sup>わたし</sup>を作ります！～みどりのライオンで私だけの勾玉をデザインしてみよう！～

②削って削って集中

③水とぎって知ってる？



道具は揃っています。持って  
くるものは「やる気♡」

かんせい  
完成！！



①四角い滑石に  
オリジナルデザイン



④好きな色の  
紐とビーズを  
選んで！

ただいま休止中。再開したらぜひ来てくださいね！

※再開時は感染症対策を徹底した上で実施します。  
内容の変更や短縮をする場合もあります。

# 次に、根付つくりのワークショップを紹介します!

## 1. 学ぶ

### 根付について学びます!

江戸時代の人々が着ていた着物には現在の洋服にあるポケットがありませんでした。では、大事な物はどのように持っていたのでしょうか? 右の絵をよく見てね。

根付って何だろう? どんなかたち?

江戸時代の人々の工夫から生まれた根付についてお話を聞きます。



名古屋山三郎絵巻

江戸時代 17・18 世紀



印籠

## 2. 見る

### 展示室に根付を見に行きます! ~本館2階へGO!~

初めは四角や丸などの単純な形でしたが、自分だけの形を求めいろいろなデザインの根付が作られるようになりました。使う材料は、木、動物の牙など様々です。トーハクには、郷コレクションや高円宮コレクションがあり、数多くの作品が展示されています。

いろいろな根付があるよ!



白兔牙彫根付  
江戸時代  
18世紀

かわいらしい動物の根付です。  
ウサギがおもちをついています。



蛸壺牙彫根付  
江戸時代  
19世紀

おもしろいデザインの根付です。  
タコがたこぼから出ようとしています。



龍宮牙彫根付  
江戸時代  
19世紀

とても細かいデザインの根付です。  
浦島太郎の話に出てくる龍宮城をデザインしたものです。

\*展示替えのため、展示されていない作品もあります。

## 3. 作る

### 根付を作ります! ~オリジナル根付を考えてみよう!~

犬、桜の根付の完成!



① FIIMO(フィモ)という、カラー粘土を使います。

粘土を切って丸めます!



② 粘土をこねて形作り。型抜きもOK! 自由に作ります。



③ ホットプレートで焼いて固めます!



④ ストラップやピンをつけて仕上げます!

ワークショップの実施については、東京国立博物館ウェブサイトでお知らせします。ぜひ見てくださいね!

\*再開時は感染予防対策を徹底した上で実施します。内容の変更や短縮をする場合もあります。

発行: 東京国立博物館ボランティアアートスタジオグループ

(2022年3月)